県内の大手荷主を訪問して理解と協力を要請

《運送事業者への燃料サーチャージに理解を求める》

トラック運送事業における長時間労働の抑制等に向けた環境整備を進めるため、「**トラック輸送における取引環境・労働時間改善山口県地方協議会**」では、山口県独自の取組みとして、昨年度よりトラック運送事業者にとって真荷主となることの多い県内の大手荷主企業を直接訪問し、標準的な運賃などへの理解と協力を呼びかけています。

今年度も、坪倉山口運輸支局長及び蔦輸送首席、山下山口労働局監督課長、当協会専務理事の４名が、令和４年１２月１５日に製造大手の株式会社トクヤマ及び日本製紙株式会社岩国工場を訪問し、両社の物流部門のトップに対して、標準的な運賃や荷待ち時間への対応、令和６年４月に適用されるトラック運転手の時間外労働時間上限規制や改正改善基準告示等に対する理解・協力について要請を行い、協会からは燃料サーチャージへの理解を伝え、意見交換を行いました。

意見交換の場では、荷主側の立場からの運賃改定に対する考え方や、発荷主側で荷待ち時間の短縮を達成しても着荷主側の都合で荷待ち時間が発生している現状等、普段聞くことがない荷主側の意見を聞くことができました。

地道な活動ではありますが、今後も、運輸支局、労働局と共に、物流に影響力のある大手荷主への訪問を継続し、トラック業界の環境改善につなげていきます。

＜訪問先の概要＞

◎株式会社トクヤマ 徳山製造所（山口県周南市）
　会社概要：化成品等製造販売業　徳山製造所従業員数約 1,500 人
　対 応 者：物流グループリーダー　他３名

◎日本製紙株式会社 岩国工場（山口県岩国市）
　会社概要：製紙業　岩国工場従業員数約 500 人
　対 応 者：工場長代理兼事務部長　他３名

株式会社トクヤマでの意見交換

日本製紙株式会社での意見交換